



# パレット

～認める 支える 分かち合う 個性かがやく参画社会～



## 笑顔いっぱい 佐野の人たち

### 【「日本女性会議2019さの」開催!!】

皆さんこんにちは！ ついに、日本女性会議が10月25日（金）～27日（日）の3日間にかけて開催されますね♪

今回の「パレット」では、全国からお越しになる参加者の皆さんに向けて、「佐野にはこんな活躍をしている人がいる!」、「佐野に住んでいる素敵な人をご紹介します!」という思いから5人の方々にお話しを伺ってきました。このほかにもたくさん紹介したい人・団体がいましたが、今回は5人とさせていただきます。ご活躍されている佐野のみなさま大変申し訳ございませんでしたm(\_ \_)m それでは、次のページへ…どうぞ!

## やさしい風のおもてなし

緑のシャワーを随所に感じながら登ってくると、唐沢山の上からは富士山が見え、新宿の高層ビルも確認することができる。「ここからはスカイツリーもみえるんですよ」と唐澤山神社の禰宜、佐野由希子さんが絶景ポイントを教えてくれた。

社務所には静かな気が流れていた。「ここはゼロ磁場なのかもしれないですね。」筆者がこんな質問をすると、「この部屋の時計はいつも時間がズレてしまうので、色々替えてみたのですが、どんなに入れ替えても、全部時間が止まってしまいます」そう語る若き女性神職の佐野さん。女性としての特別の難しさを感じたことがあるかとの問には、「そんなに不自由を感じたことはありませんね、あまり意識すると、構えてしまいますからね。自然に、普通にやっています。」取材班としては、神職は男の人が受け継ぐものとして先入観をもっていたが、美しき神主さんは爽やかに覆して神様の領域に新しい風を感じさせてくれた。佐野には、特に女性の神主が多いと言っ。今や、神職界の方が男女の垣根を超えた取り組みをされているのかもしれない。

「今年は佐野の天明鑄物を使った御神縁結びの風鈴ベンチを作って、そこで参拝者にゆっくりと気持ちと和ませていただきたいと思います。」朝廷の敵であった平将門と勇敢に戦い、日本を守った佐野のヒーロー藤原秀郷公が築いたこの城は、戦国時代には何度も攻められたがどうやっても落ちなかった城。この言い伝えが今はゲームの中で有名だそう。『落ちない城』決して落ちない受験で落ちない。そんな思いで合格祈願に来る受験生も多いという。ここ唐澤山神社のゼロ磁場で、令和の優しい心の風の音と、決して落ちない強い心の風の音を浴びに来られたらどうだろうか？



佐野 由希子さん  
〈経歴〉元民放アナウンサーの経歴を生かし、神社のイベントなどでは自ら司会をこなしている。

## 【禰宜とは】

神職の役職の一つで、主に宮司の補佐を務める者を言っ

佐野さん貴重なお時間ありがとうございました！今後活動の幅がさらに広がっていくといいですね!!

## 人が人をおもてなし

「鉢の木物語」のようなおもてなしの心で全国からお越しになる皆様に、開催地佐野をPRしていきたいでしょう。」日本女性会議2019さのに広告・協賛・寄付をお願いするチラシの一文です。

その『鉢の木物語』を佐野の方言で迫力いっぱい語ってくれたのは佐野ふるさと民話会』の会長の熊倉芳子さんと北岡豊子さんです。語りを楽しみながら頭の中で、

「寒い冬の夜：旅僧が凍えている…温かい囲炉裏…よれよれの甲冑でやせ馬を走らせる佐野源左衛門…」

その場面、場面を頭の中で自分自身の色彩で鮮明に思い浮かべることができました。

北岡さんは旧葛生町教育委員会主催の生涯学習・葛生活躍人セミナーを受講したのを機に民話を愛好する人たちが集まり平成12年に「くずう民話の会」を立ち上げ「くずう民話」を発行。そして一市二町の合併を機に「佐野ふるさと民話の会」へと名称を変更し「佐野の民話」を発行しました。

「民話は道徳の時間」であると小学校などで語り部を披露し、また、老人施設では昔を思い出して欲しいという思いで披露しているとのこと。

熊倉会長は、今後の抱負として、「栃木県内には92歳になる語り部がいるのでその方を目標にしたい。また、男性の語り部を募集中。そして、語り部養成講座を開催し、たくさんの語り部を育てたい。」とのことでした。「人が人をおもてなしの心は、何百年過ぎた今に至るまで故郷の誇りとして語り継がれているので、さの大会では『鉢の木物語』のような本当のおもてなしに触れて佐野を満喫して欲しい。」と参加する皆さんにエールを送っていただきました。



佐野ふるさと民話の会  
(写真左) 会長 熊倉 芳子 さん  
(写真右) 前会長 北岡 豊子 さん  
佐野に伝わる昔話や伝説を後世に残すため、ボランティアで市内各所で活動をしている。

熊倉さん・北岡さん  
素敵な民話語りありがとうございました！  
会が紡いできた佐野の歴史や伝統のお話し、後世まで語り続けていきたいですね!!

## アイディアグルメのおもてなし

佐野市で新しい第三のグルメが誕生したのを皆さんご存知でしょうか？現在、佐野市では23店舗で「黒から揚げ」を販売中です。この「黒から揚げ」聞きなれない言葉ですが、佐野市を愛するパパたちが佐野の新しい魅力を発掘し、PRするため組織された「パパプロe街佐野奉行所」において、開発されたもの。「黒から揚げ」ってどんな味？と思われる方がいるかも知れませんが、パパたちが開発したソース味のスパイシーな黒から揚げ、その名も「佐野黒から揚げ」ソースが香るヤミツキ味のことで、黒ければ黒いほどよく、基本レシピに、それぞれの店舗が独自の工夫を凝らしたオリジナルの「黒から揚げ」のことです。

今回、お邪魔した「なるねこからあげ家」の店長である玉井さんは、佐野から揚げ協会の会長です。玉井さんは、初めに興味を持ったから揚げ店でから揚げフェスに参加するほど、黒から揚げに熱心で、協会を設立した平成30年10月14日から初代会長として活躍しています。今まで苦労したこととはありますか？と聞くと「ゼロベースで作ったためソースが絡まず、味がまとまるまで大変苦労した。」とのことでした。このソース開発に1か月試行錯誤し、ようやく納得のいく味が出せるようになり、平成31年に出店にこぎつくことができたとのことでした。

今回、日本女性会議が佐野で開催されることで、佐野の人だけではなく全国の人にもこの「佐野黒から揚げ」を食べていただき、佐野のことをもっと知ってもらいたいとのことでした。

初代会長としていろいろと取り組んでいる玉井さんですが、これからの抱負を伺うと「みんなに喜んでもらいたい。特に若い人に、佐野市の魅力や、人と人のつながりを知ってもらいたい。」と笑顔でお話ししてくれました。



玉井 成美さん

東京都出身。ご主人との出会いを機に佐野市に移住。居酒屋なるねこを創業し経営する一方、佐野から揚げ協会の初代会長として現在に至る。



玉井さん・石田さん貴重なお時間ありがとうございました！  
お二人の想いが女性会議の参加者に届くことを願っています！！

## お花でおもてなし

今回取材した石田さんは「緑化クラブばなばな」の会長です。立ち上げたきっかけは、「栃木県緑化ボランティアリーダー養成講座」を2年間受講し、それがきっかけで設立。メンバーは佐野市民だけではなく、市外の方も交えて、毎月第2木曜日「佐野新都市バスターミナル内花壇」の活動を行い、その他「道の駅みかも」や「あかみ浅間の里」など、ボランティアで植栽や維持管理等を行っているとのことでした。

今までご苦労されたことはと尋ねると、「みんなお花は大好きですが、素人なので四苦八苦。地道な作業である雑草との闘いの日々です。」と語る石田さん。平成15年には里山を開墾し、手作りで温かみのある、花と緑の景観づくりを目指し、「あかみ浅間の里」を作り、皆と無理なく楽しく行っておりませんが、数年前から思いもよらないイノシシ被害に遭い一夜にして荒らされ、心が折れそうになることもあったそうです。一方で、佐野新都市バスターミナルでの緑化作業は、バスの利用者からお褒めの言葉をかけて頂くことが活動の励みになるとのことでした。

JWCさの会員もある石田さんは、佐野の玄関口であるバスターミナルは「日本女性会議2019さの」開催期間中に、県内外からたくさんの方が訪れるのでおもてなしの気持ちを花に託し、花壇にマリーゴールド等の花苗を植え付け作業したとの事です。

最後に、ここまで続ける事が出来た情熱のもとはなんですかと尋ねると、「一緒にボランティアをしている仲間たちとの絆があるからこそここまで続けられました。この会のコンセプトは、花でおもてなし、ようこそ佐野です。環境美化や景観に配慮し、仲間と励んでいきたいと思えます。」とお話ししてくれました。



石田 美代子さん

あかみ浅間の里の発起人。傾聴ボランティア(楽風カフェ)、みかも植栽ボランティア、緑化クラブばなばなに所属し、佐野新都市バスターミナル内花壇の植栽など、様々なボランティア活動を行っている。



## 佐野ご当地グルメ

日本女性会議が開催される10月の佐野市は、おいしい新米、原木椎茸、そして栃木ブランド梨「にっこり」が最盛期です。「にっこり」は通常の梨の2.5～4倍の大きさ。そして、たっぷり果汁ととろけるような甘さが特徴です。

そして、佐野市といえば青竹打ちで透き通った黄金スープの佐野らーめん。

他にも串に刺さったいもフライ、スパイシーでソース味の佐野黒から揚げ、郷土料理耳うどんなど佐野の魅力をぜひご堪能あれ。

## 佐野で買えるおすすめ土産

- ・さのスイーツもなか（さのまるデザイン）
- ・佐野生らーめん（常温で持ち運び可）
- ・冷凍餃子（お店の味を食卓で）
- ・ソース（自然の甘味にこだわり）
- ・まんじゅう（都内アンテナショップお土産上位）
- ・せんべい（おいしい水と米から作る傑作）
- ・さのまるグッズ



佐野らーめん



佐野黒から揚げ



いもフライ



佐野ブランドキャラクター

佐野らーめんのお椀の笠をかぶり、腰にはいもフライの剣を差した佐野の城下町にすむ侍。前髪は麺で出来ています。ゆるキャラ@グランプリ2013では、エントリーした1,580キャラクターの中からグランプリに輝きました。



佐野で待ってるね!



©佐野市

## < お知らせ >

佐野市では各種相談窓口を設置しています。ぜひご利用ください。

（詳細は、各公共施設に設置されているチラシまたは佐野市ホームページをご覧ください。）

**【女性のためのカウンセリング相談】** 実施日:毎月第1木曜10時～14時、第3木曜10時～12時（要予約）

●日々の生活の中で女性の抱える様々な悩みについて、女性のカウンセラーがあなたと一緒に考えます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。相談無料、事前予約制、お電話での相談も受付けております。

（秘密厳守）

**【女性相談】** 実施日:毎月第4木曜9時30分～16時

●夫婦のこと、家族のこと、男女のトラブルなど女性のかかえる悩みについて相談をお受けします。一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。（相談無料）

**【女性の再就職相談会】** 実施日:毎月第3金曜10時～12時（要予約）

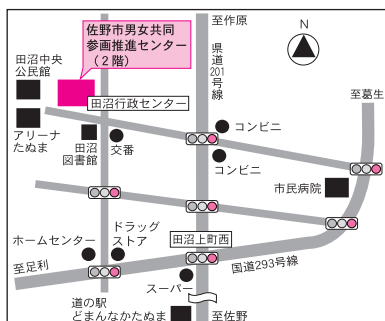
●「働きたいママを応援します！」再就職への疑問、不安…聞いてみませんか？ハローワークマザーズコーナーの相談員が相談をお受けします。（託児サービス有）



### 【編集委員】

阿部陽子 今井美砂子  
北詰なな子 黒澤千賀子  
中里聖子

パレット 第20号【2019年9月発行】  
編集発行 佐野市市民生活部人権・男女共同参画課  
〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974-3  
電話 0283 (61) 1140 FAX 0283 (61) 1142  
E-mail: danjokakari@city.sano.lg.jp



**【編集後記】**  
おもてなしの心で、市外からの皆さまをお迎えしたいという思いで、編集委員は佐野のよいところ探しを始めました。佐野の人は少しシャイですが、みんな親切です。子どもはすれ違う時には大きな声であいさつをしてくれます。東京にこんなに近い場所に自然の恵みと笑顔があふれています。「ようこそ佐野へ」日本女性会議をきっかけに佐野の心を感じてくだされば嬉しいです。

男女共同参画に関する身近な情報や、市内で活躍する女性の情報をお寄せください。また情報紙「パレット」についてのご意見・ご感想をお待ちしております。